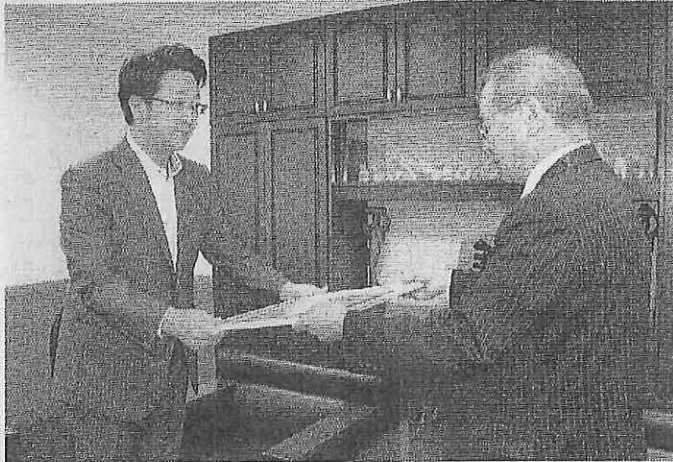


"縁の下の力持ち"を継続

夕市開催に連続協力

市観光協会 早水組に感謝状



市民と観光客が楽しんだ「あばしり道の駅 夕市まつり」の開催に

早水組（早水誠社長）に感謝状を贈った。

夕市は7月23日から27日までの5日間、道の駅「流水街道網走」を舞台に開催したビアガーデン。

今年には過去最高の市民や旅行者ら2万3千人が来場し、網走の夏を楽しんだ。花火大会の会場としても多くの観光客が集まった。

同社はイベント初年度の8年前、会場運営に人手が足りず、資材も不足していることを知り「地元企業として協力を」と申し出た。

田上会長から感謝状を受け取る早水社長（左）

以来、縁の下の力持ちを買って出ている。

今年も社員をイベント運営のボランティアとして派遣。バリケードやテントの設置なども協力した。

イベント後半、強風に見舞われた際、同社の社員が現場で警戒にあたり、アンカーの補強などを行い、テントや資材の飛散を防いだ。

この日、田上会長と井上範一専務が同社を訪れ、早水社長に「早水組をはじめとするボランティアの協力がなければ、夕市は開催することができなかった。多くの市民や旅行者が喜んでくれた」と感謝状を手渡した。

早水社長は「年々、規模が大きくなり、市民だけではなく多くの観光客が楽しみにしている。さらに大きなイ

ベントとなることを期待すると同時に、今後も協力をしていきたい」と話していた。（今村